

会員一覧

一般社団法人日本アルコール・アディクション医学会
1965年設立 会員950名 理事長 宮田 久嗣
<https://www.jmsaas.or.jp>

一般社団法人日本解剖学会
1893年設立 会員2,207名 理事長 八木沼 洋行
<http://www.anatomy.or.jp/>

一般社団法人日本磁気共鳴医学会
1981年設立 会員3,700名 理事長 黒田 輝
<http://www.jsmrm.jp/>

一般社団法人日本小児神経学会
1961年設立 会員3,837名 理事長 岡 明
<https://www.childneuro.jp/>

日本自律神経学会
1956年設立 会員750名 理事長 荒木 信夫
<http://www.jsnr-net.jp/>

日本神経回路学会
1989年設立 会員500名 会長 阪口 豊
<http://www.jnns.org/>

日本神経化学会
1958年設立 会員1,212名 理事長 小泉 修一
<http://www.neurochemistry.jp/>

日本神経科学学会
1974年設立 会員5,901名 会長 柚崎 通介
<https://www.jnss.org/>

一般社団法人日本神経学会
1960年設立 会員9,414名 代表理事 戸田 達史
<http://www.neurology-jp.org/>

日本神経心理学会
1960年設立 会員1,581名 理事長 池田 学
<http://www.neuropsychology.gr.jp/>

一般社団法人日本神経精神薬理学会
1985年設立 会員1,964名 理事長 大隅 典子
<https://www.jsnp-org.jp/>

日本神経内分泌学会
1967年設立 会員509名 理事長 上田 陽一
<http://www.nacos.com/jns/j/>

一般社団法人日本神経病理学会
1960年設立 会員982名 理事長 柿田 明美
<http://www.jsnp.jp/>

日本神経放射線学会
1972年設立 会員822名 代表 三木 幸雄
<http://neurorad.umin.ne.jp/>

日本神経免疫学会
1988年設立 会員614名 理事長 藤原 一男
<http://www.neuroimmunology.jp/>

公益社団法人日本心理学会
1927年設立 会員8,214名 理事長 坂上 貴之
<https://psych.or.jp/>

一般社団法人日本睡眠学会
1977年設立 会員3,760名 理事長 内山 真
<https://jsr.jp/>

一般社団法人日本頭痛学会
2006年設立 会員2,700名 代表理事 平田 幸一
<https://www.jhsnet.net/>

公益社団法人日本精神神経学会
1902年設立 会員18,634名 理事長 神庭 重信
<https://www.jspn.or.jp/>

日本生物学的精神医学会
1979年設立 会員1,200名 理事長 尾崎 紀夫
<http://www.jsbp.org/>

一般社団法人日本生理学会
1922年設立 会員2,678名 理事長 石川 義弘
<http://physiology.jp/>

一般社団法人日本てんかん学会
1967年設立 会員3,073名 理事長 池田 昭夫
<http://square.umin.ac.jp/jes/>

一般社団法人日本認知症学会
1982年設立 会員5,401名 理事長 秋山 治彦
<http://dementia.umin.jp/>

日本ニューロリハビリテーション学会
2010年設立 会員338名 理事長 近藤 和泉
<http://www.fujita-hu.ac.jp/~rehabmed/JSNRNR/>

日本脳科学会
1996年設立 会員211名 理事長 伊豫 雅臣
<http://jsfbs.com>

一般社団法人日本脳神経外科学会
1948年設立 会員10,119名 理事長 富永 悌二
<http://jns.umin.ac.jp/>

公益社団法人日本薬理学会
1927年設立 会員4,148名 理事長 谷内 一彦
<https://pharmacol.or.jp/>

公益社団法人日本リハビリテーション医学会
1967年設立 会員11,649名 理事長 久保 俊一
<http://www.jarm.or.jp/>

一般社団法人日本臨床神経生理学会
1971年設立 会員3,667名 理事長 正門 由久
<http://jscn.umin.ac.jp/>

一般社団法人日本臨床精神神経薬理学会
1991年設立 会員1,483名 理事長 染矢 俊幸
<http://www.jsncp.org/>

認知神経科学会
1995年設立 会員480名 理事長 本村 暁
<http://plaza.umin.ac.jp/~scn/>



日本脳科学関連学会連合

Union of Brain Science Associations in Japan



連絡先



日本脳科学関連学会連合事務局

〒351-0198 埼玉県和光市広沢2番1号
理化学研究所脳神経科学研究推進室 内
TEL: 048-467-9654 / FAX: 048-462-4914
E-mail: office@brainscience-union.jp

URL <http://www.brainscience-union.jp/>

ご挨拶

日本脳科学関連学会連合
代表 伊佐 正

人類の歴史の中で、自分の心のあり場所を脳に求めた先人の存在は、少なくとも古代ギリシャ時代に遡ります。それ以降、私たち人間は脳と自己の存在との関係を考えてしてきました。そして「21世紀は脳の世紀」とも呼ばれるように、この20-30年余りの間に脳科学は飛躍的な進歩を遂げ、脳についての膨大な知識が集積されるようになりました。また、難治性とされてきた脳の病気についての理解も進み、少なくとも一部は治療が視野に入ってくるようになりました。ただ、脳は超複雑系ですので、その機能を理解し、疾患を克服するためには、今後一層生命科学や臨床医学のみならず幅広い学問分野の力を結集する必要があります。そのため、2012年に日本の脳科学に関する諸学会の力を結集させる組織として日本脳科学関連学会連合（脳科連）が設立され、歴代の代表を務められた宮下保司、水澤英洋、岡部繁男、山脇成人各先生方のご努力により、現在では31学会が加入し会員総数は約11万人を超える組織となり、その役割は益々大きなものとなりつつあります。2020年7月より本連合は新体制となりました。将来の日本の脳科学のあるべき姿を発信し、さらに社会貢献できればと思っておりますので、皆様の温かいご支援、ご理解をお願い申し上げます。

2020年7月

日本脳科学関連学会連合とは

設立経緯

脳科学研究は、脳の基礎的研究をとおして、脳とこころの健康の維持、疾患との境界やそこに至る過程を解明し、現代人が抱えるさまざまな問題の解決に貢献することを目的としています。基礎研究から臨床研究まで様々なテーマに取り組み、アプローチも医学、生物学分野のみならず、薬学、工学、コンピュータ情報学等、様々な分野にわたっています。

このため、脳科学研究のコミュニティでは各研究分野の学会が各々の専門分野の活動に加え、分野を横断して連携し研究を推進して参りました。しかし、脳科学者の責務として、脳科学分野全体として日本の脳科学の発展と普及のために貢献すべきとの機運が高まり、2012年7月1日、国内の基礎・臨床脳科学関連の19学会が連携し、日本脳科学関連学会連合を設立しました。現在の会員学会は31学会に発展しています。

趣旨

本連合は、我が国の脳科学の基礎・臨床研究者を代表し、脳科学の発展と普及を通して社会に貢献することを目的とする。さらに、学協会活動に関する情報連絡の便宜を図り、必要に応じ、連合として政府や国民、学協会等に対しても積極的に意見を表出する（日本脳科学関連学会連合運営規約第3条）。

役員

代表 伊佐 正（京都大学・日本神経科学学会）
副代表 齊藤延人（東京大学・日本脳神経外科学会）
尾崎紀夫（名古屋大学・日本生物学的精神医学会）

活動実績

これまで、以下のように、日本医療研究開発機構(AMED)による新規プロジェクトの策定に際してのアカデミアとしての意見の表出、提言の発出、さらには将来を担う高校生へのアウトリーチも行ってきました。

- **革新脳プロジェクト**（第二期・平成26年度）、**脳科学研究戦略推進プログラム**（融合脳（平成28年度）・環境適応脳（平成28年度）、**国際脳**（平成30年度）など、高齢化、多様化が進む現代社会が直面する様々な課題の克服により「社会に貢献する脳科学」の実現を目指し、脳科学研究を戦略的に推進する各種プログラムの策定、また今後の脳科学の推進方策に関する現在策定中の報告書「社会への貢献を見据えた今後の脳科学研究の推進方策について」を担当する文部科学省の脳科学委員会の作業検討部会において、脳科連の将来構想委員会での審議内容を表出することで、アカデミアの意向をプログラムの内容に反映させてきました。
- 2020年4月には「**臨床試験に資する精神・神経疾患データベース構築と人工知能を用いた診断補助・ビッグデータ解析に関する産学官連携の提言**」を発出し、マスコミや製薬協関係者などと会見を行いました。
- 2020年6月には、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下における緊急提言「**新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に係るメンタルヘルス危機とその脳科学に基づく対策の必要性**」を発出し、記者会見などを行い、各方面で取り上げられました。
- **国際ブレイン・ビー**（脳科学オリンピック）の国内予選を開催しています。最優秀生徒は次年度の国際大会への派遣候補者となります。



写真：国内予選入賞者の表彰式にて
(2019年7月)

一般の皆様への広報活動

- 1) ホームページ (<http://www.brainscience-union.jp/>) に日本神経科学学会の事業である脳科学辞典（脳科学分野の用語解説）のリンクを掲載しています。
- 2) ホームページに「知ってるほど！脳科学豆知識」を連載しています。

各種委員会について

脳科学将来構想委員会

政府や国民、学協会に対して脳科学研究の将来構想等に関する提言を行います

運営委員会

連合代表および副代表を含む運営委員より構成され、本連合の迅速な意思決定を行います

広報委員会

脳科学の成果や現状を分かり易く国民に発信します

評議員会

各会員学会を代表した評議員から構成されます

